

家庭学習の手引き



常滑東小学校

保護者の皆様へ

1 家庭学習の手引きのねらい

小学生の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭と協力し合うことで、子どもたちの力はさらに何倍にも高められます。家庭学習の習慣化で子どもたちの「生きる力」をさらに高めていくことができます。

ぜひ、お子様と一緒に、この家庭学習の手引きを活用してください。
ご理解とご協力をお願いします。

2 家庭学習のねらい

- 1 学校で学習した内容を、より確かなものにします。
- 2 家庭での学習習慣を身に付けます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や、学習に対する自信を高めます。
- 4 脳を活性化させます。
- 5 「がまん強さ」・「根気」・「集中力」を身に付けます。



生涯にわたる
「学び」へと
つながります。

生きる力

3 家庭学習を支えるもの

規則正しい生活習慣が大切です。

- 1 「早寝・早起き・朝ご飯」を大切にしましょう。
- 2 毎日、少しずつでも運動をさせましょう。
- 3 テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう。
- 4 家族の一員として、お手伝いにも取り組ませましょう。
- 5 家庭学習に取り組める時間帯を話し合いましょう。

4 家庭学習の習慣や方法

(1) 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ①毎日、必ず学習する。（できるだけ時間を決めて行う。）
- ②テレビを消して行う。
- ③毎日、同じ場所（自分の机、居間、食卓など）で行う。
- ④机の上をきれいにし、姿勢を正して行う。

(2) 家庭学習のめやす

（宿題を含めて）

- | | |
|-----|-------|
| 1年生 | 20分以上 |
| 2年生 | 30分以上 |
| 3年生 | 40分以上 |
| 4年生 | 50分以上 |
| 5年生 | 60分以上 |
| 6年生 | 70分以上 |

※あくまで、めやすです。



5 家庭へのお願い

- お子さんと、家庭学習の大切さについて、機会をとらえて話し合しましょう。
- 学年に応じて、声かけや見届けをしましょう。
- やったことを認め、ほめたり励ましたりしてあげましょう。
- お子さんが困っているときは、相談に乗ってあげてください。
- それでも困ったときは、担任にご相談ください。（家庭と担任が知恵を出し合しましょう。）
- 難しい問題でも、簡単に投げ出さず、じっくりと考えさせ、最後まで取り組ませましょう。

「よくできたね。」
「きれいに書けたね。」
「この頃がんばっているね。」
「これもできそうだね。」
「もう1度やってみようか。」
など



6 各学年の取り組み

◎1年生

担任から出される宿題を確実にこなしていくことによって、家庭学習の習慣づけをする時期です。家庭からの声かけによって、継続して取り組めるようにしてあげるのも、大切なことです。

◎2年生

1年生から継続して、担任から出される宿題を確実にこなしていくことによって、家庭学習の習慣をより確かなものにする時期です。この時期も、家庭からの声かけによって意欲をもって取り組めるようにしてあげることは、大切なことです。

◎3年生

担任から出される宿題を確実に取り組んでいくことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。また、自分が間違えたところや分からなかったところを、ノートにもう一度やってみるという学習（自主学習の初歩として）に取り組むのにもよい時期です。

◎4年生

担任から出される宿題を確実に取り組んでいくことによって、学習内容の定着を確かなものにしていきます。プリントやテストで間違えたところを、ノートにやり直してみることに取り組ませたいものです。苦手な教科の教科書を書き写すことも効果があります。

◎5年生

担任から出される宿題や自主学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにし、学習をさらに進めていくことができます。プリントやテストで間違えたところや分からなかったところを、もう一度ノートにやってみるという習慣化が大切になります。

◎6年生

担任から出される宿題や調べ学習に確実に取り組むことによって、学習内容の定着を確かなものにし、学習をさらに進めていくことができます。プリントやテストで間違えたところや分からなかったところを、もう一度ノートにやってみて、自分のできなかつたところを知り、次回に生かせるようにしておくことが大切になります。

1年生の かてい学しゅうに ついて

いえのひとと いっしょに よみましょう。

1ねんせいでは こんなことが できるようにしよう

- はっきりとした こえで、ほんが よめる。
- ひらがな、カタカナが よめる、かける。
- ならった かんじを よめる、かける。
- えんぴつを ただしくもって じをかける。
- じゅんじょよく はなせる、かける。
- 「は」「を」「へ」を ただしくつかって ぶんをかける。
- たしざん、ひきざんが できる。
- 一のくらい、十のくらいがわかる。

☆やくそく☆

- べんきょうする じこくを きめましょう。
(かえったらすぐ、5じから ゆうはんのまえ など)
- しずかなところで しゅうちゅうして とりくみましょう。
- テレビを みないで やりましょう。
- 20ふんを めやすにして がんばりましょう。
- まず がっこうからの しゅくだいを しましょう。そのあと、こくご、さんすう、につきなど いろいろな がくしゅうに とりくみましょう。
- ていねいな じで かきましょう。
- ノートには ひづけ、べんきょうのたいを かきましょう。
- がくしゅうが おわったら、おうちの ひとに みて もらいましょう。そして、まちがい なおしを しましょう。



☆かていがくしゅうの まえに

- *がっこうからの おてがみは おうちの ひとに わたしましたか。
- *べんきょうを するばしょは かたづいていますか。
- *しせいや えんぴつの もちかたは 正しいですか。



☆かていがくしゅうの あとに

- *じかんわりを たしかめて あしたの じゅんびを します。
(きょうかしよ、ノート、したじき、ふでばこ、れんらくぶくろ、れんらくちょう、ハンカチ、ティッシュ、きゅうしょくセット、たいそうふくなど)
- *えんぴつを けずって おきます。

☆2がっきから こんな かていがくしゅうを

こんな やりかたで やってみましょう

がくしゅうないよう	やりかた
① もじ (ひらがな、かたかな、かんじ)	○かたかな かんじをかく。 ・おてほんを よく みる。 ・ていねいに こく かく。 ・とめ、はね、はらいを ただしく かく。
② ことばあつめ	○「あ」「い」「う」…からはじまることば ○「どうぶつ」のなかま 「やさい」のなかま 「くるま」のなかま など ○ちいさい「っ、や、ゆ、よ」の はいった ことばを あつめる。
③ しりとりあそび	○じゅんばんに いたりり ノートにかいたりする。
④ ぶんづくり	○「は」「を」「へ」を つかって みじかい ぶんをつくる。 ○ならった かんじを つかって ぶんを つくる。 ○おうちのひとに はなしたり ノートにか いたりする。
⑤ おんどく	○いえの ひとに きいて もらう。 ・べんきょうしている ところを 1かい じょう よむ。 ・ほかの ところを よんでも よい。
⑥ さんすう	○もんだいを よく よんで とく。 ○けいさんの れんしゅうを する。 ○さんすうの ぶんしょうもんだいを する。 ○もんだいづくりを する。
⑦ どくしょ	○としょかんの ほんや おうちの ほんを よむ。
⑧ にっき	○そのひの できごとを せんせいに おは なしするように かく。



2年生の かてい学しゅうについて

いえの 人と いっしょに よみましょう。

2ねんせいでは こんなことが できるようにしよう

- 大きな こえで、本が よめる。
- 「、」や「。」に 気をつけて すらすらよめる。
- ならった かんじを 正しくよめる、かける。
- じゅんじょよく はなせる、かける。
- たしざん、ひきざんが 正しくできる。
- かけざん九九が すらすら言える。
- じょうぎを つかって はかったり かいたり することができる。
- 三かくけいや 四かくけいの ちがいがわかる。



☆やくそく☆

- やる じこくを きめ 自分から すすんで しましょう。
かえったらすぐ ゆうはんのまえ など
~のまえ ~のあと というように 一日の 生かつの リズムの
中に くみいれると わすれずに まい日 できるように なります。
- しずかな ところで しゅう中して とりくみましょう。
- テレビを 見ないで やりましょう。
- 30ぷんを めやすにして 学しゅう しましょう。
- まず 学校からの しゅくだいを しましょう。そのあと、こくご、さんすう、
日きなど いろいろな 学しゅうに とりくみましょう。
- 文字や 図は ていねいに かきましょう。
- ノートには 日づけを かきましょう。
- 学しゅうが おわったら おうちの 人に見て もらいましょう。そして、ま
ちがい なおしを しましょう。

☆かてい学しゅうのまえに

- *学校からの おたよりを いえの 人に わたしましたか。
- *べんきょうするところは かたづいていますか。
- *しせいや えんぴつの もちかたは 正しいですか。



☆こんな かてい学しゅうを

こんな やりかたで やってみましょう

学しゅうないよう	やりかた
① かん字れんしゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・かん字ドリル などの かん字を かん字ノートに ていねいに かく。 ・あたらしく ならった かん字の れんしゅうや まえに ならった かん字を ノートにかく。
② 音どく	<ul style="list-style-type: none"> ・じんぶつの 気もちを かんがえて よんだり ばめんを おもい うかべながら よんだりする。
③ ししゃ	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうかしよや としよかん などで かりた 本の中で すきな文や しを かきうつす。
④ どくしよ	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうかしよの 文しよを かいた人の 本を よむ。 ・じぶんの かんそうを かく。
⑤ 計算れんしゅう	<ul style="list-style-type: none"> ・けいさんドリルの もんだいを ノートに おこなう。 ・いままでに ならった いろいろな けいさんの れんしゅうを する。
⑥ ぶんしよもんだい	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうかしよの もんだいを もういちど といてみる。
⑦ ながさや かさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ものさしを つかって ものの ながさを はかってみる。
⑧ かたち	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな 三かくけいや 四かくけいを ものさしを つかって かく。
⑨ 日き	<ul style="list-style-type: none"> ・こころに のこった できごとや じぶんの おもった ことを かく。

☆かてい学しゅうのあとに

*じかんわりを たしかめて あしたの じゅんぴをします。

*えんぴつを けずって おきます。



3年生の 家でい学しゅうについて

家の人といっしょに読みましょう。

○家でい学しゅうが大切なわけ

- ① 学校で学しゅうしたことをわすれないために、やります。
- ② 一人で学しゅうするしゅうかんをつけるために、自分の力でとり組みます。

3年生では こんなことが できるようにしよう

- 音読がしゅうかんになる。(気持ちこめて読む)
- 習ったかん字を読める、書ける。
- 国語じてんを正しくつかえる。
- みじかい詩やことわざをおぼえる。
- 主語と述語が分かって、文を書くことができる。
- わり算ができる。
- ものさしやコンパスを正しくつかうことができる。
- いろいろな三角形のちがいが分かる。
- 地図の見方と地図記号が分かる。
- ローマ字が読める。



☆やくそく☆

- 学しゅうタイムをきめて、自分からすすんでとり組みましょう。
- かえったらすぐ、夕はんの前などに、学校からのしゅくだいをしましょう。そのあと、国語、算数、日記など、いろいろな学しゅうにとり組みましょう。
- しずかなところで40分をめやすにして、学しゅうしましょう。
- テレビを見ないで、やりましょう。
- 学しゅうのはじめに、月日を書きましょう。
- かん字れんしゅうや計算れんしゅうは、くりかえしがんばりましょう。
- ドリルやもんだいにとり組んだ後は、かならず丸つけとまちがい直しをしましょう。
- 文字や図はていねいに書き、ノートをつかい方をくふうしましょう。

☆家でい学しゅうの前に

- * 学校からのおたよりを家の人にわたしましたか。
- * べんきょうするところは、かたづいていますか。
- * 時間をきめて、集中してべんきょうしましょう。



☆家でい学しゅうの後に

- * 時間わりをたしかめて、明日のもちものをじゅんびします。
- * えんぴつをけずっておきます。



☆こんな家でい学しゅうをこんなやり方でやってみましょう

学しゅうないよう		やり方
国語	① かん字のれんしゅう	・かん字ドリルをよく見て、正しくていねいにかん字を書く。 ・かん字はくりかえし書く。
	② みしらべ	・かん字や言葉のいみ、つかい方をしらべる。
	③ しゃ	・教科書の文字をていねいに書きうつす。
	④ 文作り	・詩や作文、日記を書く。 ・しゅうしょく語(せつめいすることば)をつかって文を作る。
	⑤ 読書	・教科書の文しょうを書いた人の本を読む。 ・本のかんそう文やおすすめの本のしょうかい文を書く。
	⑥ 音読れんしゅう	・よいしせいで、今べんきょうしているところや、つぎにべんきょうするところを読む。 ・家の人に聞いてもらうのもよいですね。
	その他	・もんだいしゅうでパワーアップする。 など
算数	・計算ドリルのもんだいをする。 ・教科書のれんしゅうもんだいをノートにおこなう。 ・調べたことを表やグラフにあらわす。 ・もんだい作りをする。 ・ならった図形でもよう作りをする。 ・教科書のもんだいでふくしゅうをする。 など	
社会	・教科書でならったことをまとめる。 ・地図記号をしらべる。 ・地図をかいてみる。 ・しごとをしらべる。 ・まつりをしらべる。 ・もんだいしゅうでパワーアップする。 など	
理科	・教科書でならったことをまとめる。 ・しょくぶつやこん虫のかんさつ日記を書く。 ・しょくぶつやこん虫、じ石や電気などについてしらべたことをまとめる。 ・もんだいしゅうでパワーアップする。 など	
その他	・テストやプリントのまちがい直しや、くりかえしれんしゅうをする。 ・新聞やニュースのかんそう文を書く。 ・図かんやじてんで調べたことをまとめる。 ・音ぷや休ふをかく。 ・リコーダーをれんしゅうする。 など	

4年生の家庭学習について

○家庭学習が大切なわけ

- ① 学校で学習したことを身に付けるために、毎日やります。
 - ② 進んで一人で学習する習かんを付けるために、自分の力で取り組みます。
- ※ 毎日続けることで必ず力が付きます。がんばりましょう!

4年生ではこんなことができるようにしよう

- 音読の習かんが身に付く。気持ちをこめて読む。
- 習った漢字を読める、書ける。
- 国語辞典、漢字辞典を正しく使える。
- 短い詩やことわざをおぼえる。
- ことばのつながりを考えて文章を書くことができる。
- わり算の筆算ができる。
- 平行四辺形や台形のとくちょうが分かる。
- 分度器を正しく使うことができる。
- 47都道府県の名前と位置が分かる。
- パソコンでのローマ字入力ができる。



☆やくそく☆

- 学習の始めに、月日を書きましょう。
- しずかなところで、50分以上をめやすに集中してがんばりましょう。
- まず、学校からの宿題をしましょう。そのあと、国語、算数、日記など、いろいろな学習に取り組みましょう。
- 漢字・計算テストに向けた漢字練習や計算練習は、くり返しがんばりましょう。
- ドリルや練習問題をやった後は、必ず丸付けとまちがい直しをしましょう。
※自分で丸を付け、まちがい直しをするまでが学習です。
- 文字や図はていねいに書き、ノートを使い方を工夫しましょう。

※習い事でいそがしくても、上手に時間を作って取り組みましょう。
※家庭学習を行わなかった場合は、学校で大放かや昼放かにやろう。

☆家庭学習の前に

- * テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- * 勉強する場所、つくえの上はきれいに整頓されていますか。
- * 正しいしせいになっていますか。



☆家庭学習の後に

- * しっかり学習できたか振り返ってみよう。(時間・内容・姿勢など)
- * 時間わりをたしかめて明日のじゅんびをしよう。(鉛筆をけずっておこう)

☆こんな内ようをこんなやり方でやってみましょう

	学習内容	やり方
国語	①漢字練習	・漢字ドリルなどの漢字を漢字練習帳にていねいに書く。
	②意味調べ	・国語辞典を使って教科書に出てくるわからない言葉や新しい熟語を調べる。 ・漢字や言葉の意味、使い方を調べる。
	③日記・作文	・その日の出来事や心にのこったことを日記に書く。 ・漢字を使った文作りをする。 ・せつぞく語（文をつなぐことば）をつかって文作りをする。 ・本の感想文を書く。 ・詩や作文を書く。
	④音読	・登場人物の気持ちを想像したり、じょうけいを思い浮かべたりしながら読む。
	⑤視写	・好きな詩や文を書き写す。書き写した作品の感想を書く。 ・教科書の文をていねいに書き写す。
	その他	・言葉調べや言葉集めをする。 ・ローマ字の学習をする。 など
算数	①計算練習	・計算ドリルの問題をドリルノートにやる。 ・今までに習っているいろいろな計算の練習をする。
	②文章問題	・教科書の問題をもう一度解いたり、自分で数や文章を変えて新しい問題をつくり、解いたりしてみる。
	③図形問題	・今までに習っている図形をかいたり、かいた図形のまわりの長さを調べたりする。
	その他	・教科書の問題で予習や復習をする。 ・「もっと練習」に取り組む。 ・調べたことを表やグラフに表す。 ・教科書を書き写す。 ・教科書の大事なことをまとめる。 ・三角じょうぎや分度器を使って図形作りをする。 など
社会	①復習	・教科書と「とこなめ」をくらべて読み、ちがいに線を引く。 ・教科書や「とこなめ」で習ったことをまとめる。
	②予習	・次に学習することについて教科書を読んだり、し料を調べたりする。
	その他	・愛知県内の市町村を調べる。 ・47都道府県を覚える。 ・学習に関係あることがらを、新聞、本などで調べる。 など
理科	①復習	・実験の方法や結果などについてまとめ直す。 ・教科書で習ったことをまとめる。
	②予習	・次に学習することについて教科書を読んだり調べたりする。
	その他	・月や星のかんさつをする。 ・星ざについて調べる。 ・自由研究をする。 ・自分の図かんを作る。 ・植物やこん虫のかんさつをする。 など
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のきょうみのあることをインターネットや本から調べまとめる。 ・テストやプリントのまちがい直しやくりかえし練習をする。 ・新聞やニュースのよう点をまとめたり感そう文を書いたりする。 ・図かんや辞典で調べたことをまとめる。 ・国旗調べをする。 <p style="text-align: right;">など</p>	

5年生の家庭学習について

○家庭学習の必要なわけ

- ① 学習したことを身に付け、本当の力になるまでは、くり返して練習することが大切です。
- ② 毎日学習することが、大きな力となっていきます。学習には積み重ねが必要なのです。

5年生ではこんなことができるようにしよう

- 音読のしゅうかんが身につく。気持ちをこめ、間を考えて読む。
- 学習した漢字・じゆく語の読み書きができる。
- 古典を読むことができる。
- 国語辞典、漢字辞典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 分母が違う分数のたし算・ひき算ができる。
- 割合、百分率を使った問題を解くことができる。
- 小数のかけ算・わり算ができる。
- 気候に合った生活の工夫が分かる。
- 日本のつながりの深い国の名前と位置が分かる。
- パソコンを使って必要な情報を見つけることができる。



☆約束☆

- 静かなところで、60分以上をめあてに集中してがんばりましょう。
- 毎日、できるだけ時刻を決めて取り組みましょう。
- まず、学校の宿題をしましょう。そのあと、国語、算数、日記など、いろいろな学習に取り組みましょう。
- 漢字練習や計算練習は、くり返しがんばりましょう。
- ドリルや練習問題をやった後は、必ず丸付けとまちがい直しをしましょう。
※自分で丸を付け、まちがい直しをするまでが学習です。
- 文字や図はていねいにかき、ノートの使い方を工夫しましょう。
※習い事でいそがしくても、上手に時間を作って取り組みましょう。
※家庭学習を行わなかった場合は、学校で大放かや昼放かにやろう。

☆家庭学習の前に

- * テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- * 勉強をする場所はきれいですか。
- * 正しい姿勢になっていますか。



☆家庭学習の後に

- * しっかり学習できたか、振り返ってみよう。(時間・内容・姿勢など)
- * 時間割を確かめて明日の準備をしよう。(鉛筆をけずっておこう)



6年生の家庭学習について

○家庭学習の目的：学校で習ったことを本当の自分の力にする。

- ① 学習したことを繰り返し練習し、身に付ける。
- ② 学習する時間を家での生活に位置づける。
- ③ 毎日コツコツ続けることで心をどんどん強くする。

6年生ではこんなことができるようにしよう

- 音読の習かんが身につく。内容をおさえながら読む。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 国語辞典、漢字辞典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 古文を読むことができる。
- 拡大や縮小の意味が分かる。
- XやYなど文字を使った式を書くことができる。
- 歴史上の人物や出来事について説明することができる。
- 理科の実験から、分かったことを理由をつけて説明することができる。
- パソコンを使って必要な情報を見つけることができる。



☆約束☆

- 静かなところで、70分以上を目安に集中してがんばりましょう。
- まず、学校からの宿題をしましょう。そのあと、国語、算数、日記など、いろいろな学習に取り組みましょう。
- 漢字練習や計算練習は、くり返しがんばりましょう。
- ドリルや練習問題をやった後は、必ず丸付けとまちがい直しをしましょう。
※自分で丸を付け、まちがい直しをするまでが学習です。
- 文字や図はていねいにかき、ノートを使い方を工夫しましょう。

※習い事で忙しくても、上手に時間を作って取り組みましょう。
※家庭学習を行わなかった場合は、学校で大放課や昼放課にやろう。

☆家庭学習の前に

- * テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- * 勉強をする場所はきれいですか。
- * 正しい姿勢になっていますか。



☆家庭学習の後に

- * しっかり学習できたか、振り返ってみよう。(時間・内容・姿勢など)
- * 時間割を確かめて明日の準備をしよう。



☆こんな内容をこんなやり方でやってみましょう

	学習内容	やり方
国語	①意味調べ	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やドリルに出てくる分からない言葉や新しい熟語について調べ、ノートにまとめる。 四字熟語、ことわざを調べる。
	②漢字練習	<ul style="list-style-type: none"> 新しく習った漢字の練習やすでに習っている漢字を書き取り、読み方や送り仮名のつけ方をまとめる。 漢字ドリルなどの漢字を漢字練習帳にていねいに書く。
	③音読	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを想像したり、情景を思い浮かべたりしながら読む。 古典を暗唱する。 詩を暗唱する。
	④視写	<ul style="list-style-type: none"> 好きな詩や文を書き写す。書き写した作品の感想を書く。
	⑤日記・作文	<ul style="list-style-type: none"> その日の出来事や心に残ったことを作文の様式にしたがって書く。 本の紹介や感想を書く。
算数	①計算練習	<ul style="list-style-type: none"> 今までに習っているいろいろな計算の練習をする。 計算ドリルの問題を算数ノートにやる。
	②文章問題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の問題をもう一度解いたり、自分で数や文章を変えて新しい問題を作って解いたりしてみる。
	③図形問題	<ul style="list-style-type: none"> 今までに習っている図形を描いたり、描いた図形の面積や周りの長さを解いたりしてみる。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の問題で予習や復習をする。 調べたことを表やグラフに表す。 教科書の大事なことをまとめる。 <p style="text-align: right;">など</p>
社会	①復習	<ul style="list-style-type: none"> 大切な部分に線を引いたり、分からないことについて資料集やインターネットで調べて、ノートにまとめたりする。
	②予習	<ul style="list-style-type: none"> 次に学習することについて教科書を読んだり、資料を調べたりする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の人物についてまとめる。 時代の特徴についてまとめる。 社会の仕組みについてまとめる。 <p style="text-align: right;">など</p>
理科	①復習	<ul style="list-style-type: none"> 実験の方法や結果などについてまとめ直す。
	②予習	<ul style="list-style-type: none"> 次に学習することについて教科書を読んだり調べたりする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 自由研究をする。 実験器具の名前や使い方をまとめる。 教科書をキーワードを使ってまとめる。 体の仕組みをまとめる。 自分の図かんを作る。 月や太陽についてまとめる。 <p style="text-align: right;">など</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味のあることをインターネットや本から調べたり、ノートにまとめたりする。 テストやプリントのまちがい直しやくり返し練習をする。 新聞やニュースの要点をまとめたり感そう文を書いたりする。 英語の勉強をする。 <p style="text-align: right;">など</p>	